

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名 : 有限会社吉田牧場
- 2 事業実施期間 : 平成30年度 ~ 令和元年度
- 3 補助額(事業費) : 3,750,000円(8,250,000円)

4 事業内容

チーズ工場の改築を行い、チーズ熟成庫の面積を10㎡から13.2㎡へ拡大することにより、生産量の拡大を図る。また、新たな冷蔵保管設備を導入することにより、省エネによるコスト低減や効率のよい動線の確保により生産効率を高め、温度や湿度などの環境管理の精度も整え、より高品質な製品の増産を目的とした。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量(トン)					年間製造経費 (千円)	年間製造経費 (千円)/年間 製造量(トン)	対現況比	年間販売額 (千円)	対現況比	備考
		カマンベール	モッツアレラ	サンマルセラン	フロマージュ ブラン	カチョカバロ						
現況値 (H30年度)	0.54	2.4	5.3	0.037	0.36	8.4	69,048	3,240	—	96,548	—	
		ラクレット	ウォッシュ タイプ	リコッタ	ハード系 タイプ							
		1.4	0.037	1.96	1.42							
目標値 (R4年度)	0.57	3.0	5.3	0.037	0.36	9.03	58,690	2,754	85.0%	111,644	115.6%	
		ラクレット	ウォッシュ タイプ	リコッタ	ハード系 タイプ							
		1.4	0.037	1.96	1.42							
実績値 (R4年度)	0.71	3.07	7.28	0.06	0.74	9.86	62,758	2,370	73.1%	111,474	115.5%	
		ラクレット	ウォッシュ タイプ	リコッタ	ハード系 タイプ							
		1.64	0.01	1.56	2.26							

6 地方農政局長等の総合所見

成果目標であるチーズ1トン当たりの年間製造経費の削減割合15%に対し、実績は26%であり、目標を達成している。また、年間販売額の成果目標111,624千円に対し、実績は111,474千円であり、達成率(※)は98.8%であることからおおむね目標を達成している。

※ 達成率の計算方法：(実績値－現況値) ÷ (目標値－現況値) × 100

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名 : 有限会社赤松牧場
- 2 事業実施期間 : 平成30年度 ~ 令和元年度
- 3 補助額(事業費) : 5,080,400円(12,012,000円)

4 事業内容

良質な自家生乳を使用したチーズを製造し、消費者に直接販売をするため、広さ約20㎡のチーズ製造所を整備した。場所は既存のジェラートショップの並びとし、販売はジェラートショップから始め、さらに地元のマルシェやイベントに積極的に参加し、販売を広げている。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量(トン)					年間製造経費 (千円)	年間製造経費 (千円)/年間 製造量(トン)	対現況比	年間販売額 (千円)	対現況比	備考
		モッツアレラ	ゴーダ	カッテージ								
現況値 (H30年度)	0	0					0	0	—	0	—	
目標値 (R4年度)	0.05	モッツアレラ	ゴーダ	カッテージ			5,101	3,154	皆増	8,012	皆増	
		0.6	0.6	0.2								
実績値 (R4年度)	0.0236	モッツアレラ	ゴーダ	カッテージ	スカモルツァ	フロマージュ ブラン	2,040	5,635	皆増	1,366	皆増	
		0.203	0.003	0	0.018	0.138						

6 地方農政局長等の総合所見

成果目標は未達成となっている。  
未達成の主な要因は、計画時に見込んだ需要や販売機会が新型コロナウイルス感染症の影響から回復しきれていないこと等が考えられるが、販路拡大等を含む改善計画の検討など、目標達成に向けた改善措置を求める。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名 : 合同会社榎本牧場
- 2 事業実施期間 : 令和元年度
- 3 補助額(事業費) : 4,584,200円(10,085,240円)

4 事業内容

本事業によりチーズ工房を新設し、自家生産の生乳を使用したチーズを製造し、6次産業化に取り組む。搾りたての生乳を使った安心・安全でおいしいチーズづくりを目指す。地元のファーマーズマーケットや道の駅、レストラン等へ販売を行う。限界集落になりつつある地域の活性化にもつなげる。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量(トン)					年間製造経費 (千円)	年間製造経費 (千円)/年間 製造量(トン)	対現況比	年間販売額 (千円)	対現況比	備考
		モッツアレラ		カマンベール								
現況値 (R1年度)	0	0					0	0	—	0	—	
目標値 (R4年度)	0.04	モッツアレラ		カマンベール			3,189	3,322	皆増	5,070	皆増	
		0.78		0.18								
実績値 (R4年度)	0.04	モッツアレラ	チェリー モッツアレラ	熟成 モッツアレラ	カマンベール	ストリング	1,553	2,427	皆増	2,976	皆増	
		0.157	0.15	0.032	0kg	0.252						
		リコッタ										
		0.108										

6 地方農政局長等の総合所見

成果目標は未達成となっている。  
未達成の主な要因は、計画時に見込んだ需要や販売機会が新型コロナウイルス感染症の影響から回復しきれていないこと等が考えられるが、販路拡大等を含む改善計画の検討など、目標達成に向けた改善措置を求める。